

草津市教育委員会会議録

令和2年10月定例会

(10月21日開催)

草津市教育委員会

出席委員	教育長	川那邊 正
	委員	中西長雄
	委員	稲垣明美
	委員	松嶋徹也
	委員	小辻寿規
議事参与	教育部長	居川哲雄
	教育部理事（学校教育担当）	畑 真子
	教育部副部長（総括）	南川 等
	教育部副部長（中学校給食整備担当）	宇野秀樹
	教育部副部長（図書館担当）兼 図書館長	武村 彰
	教育部副部長（学校教育担当）	作田まさ代
	教育総務課長	森下康二
	幼児課長	山際喜一郎
事務局	教育総務課課長補佐	門脇弦太

開会 午後 3時00分

川那邊教育長

それでは、ただいまから草津市教育委員会10月定例会を開会いたします。

まず、新たな教育委員として小辻 寿規さんをお迎えすることになりましたので、自己紹介をお願いします。

小辻委員

皆様、はじめまして。先日より教育委員として着任させていただきました。小辻寿規と申します。よろしくお願いいたします。

実は、この辞令をいただくときに、少し遅刻をしてしまいまして、非常にやってしまった感じがございます。

専門としては、元々社会的孤立の研究をしまして、居場所などについて研究をしてきました。自分はその人のサポートに関してはできますが、自分がいざ家族にできるのかということは怪しいなというところもやはりあるわけで、学校での話もそうであって、学校の先生方はもちろんそれぞれプロフェッショナルとしてされていると思いますが、やはり自分のできることと、自分の身の回りでできないことが様々あって、今回、教育委員をさせていただくにあたって、例えば教職員の皆さんのワークライフバランスが何とかならないものだろうかなども含めて、皆さんができる限り楽しく働けるようにというところで、私なりの知見とかも踏まえて、職場に関する居場所をしっかりと持てるように、サポートがしていければいいかなと思っています。

また、アクティブ・ラーニング、PBL等も、この何年間もそういう事業をやってきておりまして、大学において学生は非常に効果を発揮しているというところですが、大学生になれないというか、大学生にならずに就職される方とかもたくさんおられて、そういう方々にもやはり、小中学校の時代にアクティブ・ラーニングをしっかりやっていただくことによって、今後の生きる力を育んでいただけないかというふうに思っておりますので、ずっと草津市さんとしてもいろいろされていると思いますが、大学生がやっているアクティブ・ラーニングの話とかも交えながら、一緒に子どもたちにとってより良いアクティブ・ラーニングを考えていけたらなというふうに思っておりますので、いろいろと御指導、御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

川那邊教育長 ありがとうございます。それでは、議事に入りたいと思います。

—————日程第1—————

川那邊教育長 日程第1「会期の決定」についてであります。本日1日限り
といたしたいと思いますが御異議ございませんか。

各委員 — 異議なし —

川那邊教育長 異議がないようですので10月定例会は本日1日限り
といたします。

—————日程第2—————

川那邊教育長 次に日程第2「9月定例会会議録の承認」について
ありますが、あらかじめ事務局から配付され、熟読されている
と思いますが、御異議ございませんか。

各委員 — 異議なし —

川那邊教育長 異議がないようですので9月定例会会議録は承認
されたものと認めます。

—————日程第3—————

川那邊教育長 次に日程第3「教育長報告」に移ります。
今日は小辻委員をお迎えしての初めての教育委員会です。今
後も教育委員、そして事務局が一丸となり、全国に誇れる草津
の実践を重ねていきたいと思っております。
さて、依然、新型コロナウイルスの感染症はおさまることが
ありません。学校教育をはじめ社会教育においても、それぞれの
活動への影響がありますが、それでも、学校や各課担当等にお
いて工夫を重ねながら取組を行っています。
学校の修学旅行もその一つです。実施にあたって、市教委から
は、国から非常事態宣言が出されていないこと、滋賀県および行

き先に非常事態宣言が出されていないこと、滋賀県および行き先の感染レベルがともにレベル1であることなどを示し、併せて学校運営協議会、PTAとの連携を図ること、保護者、児童生徒には、実施計画、感染防止対策の理解を得ること、感染防止対策や、延期中止に伴うキャンセル料について業者との打ち合わせを行うことなどを示しました。修学旅行は学校行事で実施の可否は、教育課程の編成権を持つ校長の判断が基本です。それぞれの小中学校で校長がリーダーシップを発揮し、子どもたちの思い出作りや個々の成長を願い、有意義な修学旅行を計画できていると思っております。行き先を見ますと、小学校では奈良伊勢方面3校、奈良鳥羽方面2校、奈良長浜方面1校、奈良京都方面1校、京都長浜方面1校、広島方面2校、伊勢方面2校、若狭方面1校、淡路島方面1校です。中学校は、信楽、大津、長浜などの県内3校、和歌山1校、大阪1校、山梨1校です。これまでに4つの学校、小学校1校、中学校3校が実施を済ませました。草津では、各学校で沖縄や広島での修学旅行など特色ある修学旅行を行ってきましたが、今年の変更を余儀なくされています。残念ですが仕方のないことです。特殊な環境下ですので、教職員の創意工夫により、子どもたちには良い思い出を作ってもらいたいと思っています。

次に、教育研究所が行ったオンライン研修について報告します。毎年、夏季休業中に講師を招いての研修会を13講座実施していますが、今年は3密を避けること、また、夏季休業の短縮で教員が研究所に集まる時間が取れないこともあり、NITS（独立行政法人教職員支援機構）を活用したオンライン研修を取り入れました。講師陣は、全国的に著名な方で、昨今の教育改革をリードする方でもあります。全教員が受講をいたしました。「質の高い講座であった」、「興味ある講座を選んで受けることができた」などといったことで評価が高く、これからの研修のあり方の一つになることを確信しました。受講した教員が多かった講座は、特別支援教育、学校におけるICTの活用、主体的で対話的で深い学び、人権教育、発達の段階に応じた道徳科の指導、多様な学びの支援、コーチングスキル、不登校と教育相談などです。教員には学び続けるという意欲や姿勢が求められますが、今年のような時期であっても、教員自身が自己の力を磨くために取り組んでいることをうれしく思います。

次に、恒例のジュニアスポーツフェスティバルKUSATSUについてです。毎年なら、10月に市内14全小学校の6年生約1300人が立命館大学びわこくさつキャンパス、クインスタジアムに集合し、各校で取り組んできた長縄8の字飛び、大学の陸上競技部と小学校代表チームが競う4×100メートルリレーをはじめ、ラグビー、ラクロス、陸上など大学のクラブの皆さんの協力による各種のスポーツ体験教室を楽しむのですが、今年はそれが叶いません。

かわって、今年度は陸上、バスケットボール、バレーボール、アメリカンフットボールといった種目のトップアスリート等の御協力を得て小学校を卒業する子どもたちに、スポーツが好き、運動が楽しいと思えるような体験事業を全小学校で実施できることとなりました。先週16日には、常盤小学校で東レアローズの菅野ゼネラルマネージャーにお越しいただきました。今後、北京オリンピック陸上銀メダリストの朝原さんや、アメリカンフットボール全日本代表の木下さん、本市出身のオリンピック我孫子智美さんなどもお越しいただくので、とても楽しみにしています。

次に、多くの文化的な催しが様々な工夫の中で開催されていることについてです。星降る映画館やイオンモール草津でのBIWARTFESの開催をはじめ、草津市青少年美術展覧会は現在市役所2階特大会議室で開催中であり、引き続き10月31日からは、草津市美術展覧会も開催予定です。また、宗鑑忌俳句大会や、青少年俳句大会も募集を行い、多くの投句をいただきました。

ほかにも、草津宿本陣では、本陣四季彩々復活！特別展「本陣職はつらいよ」を10月3日から11月29日まで実施しています。また、図書館では、11月3日に図書館ビブリオバトルを開催する予定です。

それぞれの事業において、感染症対策を徹底しながら、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋にふさわしい取組を進めていきたいと思えます。以上、教育長報告を終わります。

それでは、委員の皆様から、教育全般に関する事項で御意見、御感想などがございましたらお願いをいたします。

中西委員

今も教育長の方からお話がありましたが、2階の特大会議室で、青少年美術展が開催されておりました。私も毎年見えています

が、このコロナ禍の中で子どもたちが良い作品を作ってくれたな
ということに改めて思っています。なかなかこの展覧会だけを見て
おられる方には、この展覧会の良さっていうのは、わかりにく
いと思いますが、他府県の展覧会と比べますと、子どもたちが非
常に伸び伸びと、そして子どもたちらしい絵画であったり、書写
の作品であったり、そういうものがたくさん掲示されておしまし
て、非常に好ましい良いものであったと思っています。これが滋
賀県の展覧会で主流になっているということだと思いますが、こ
ういう部分を大切に残していただきたいというふうに思います。
更に発展していくことを願っているところです。

私も、実は、この市役所の2階で行われます草津市の美術展に
も出品をいたします。また見ていただけたらというふうに思いま
すが、大人の方、高校生以上の方の出品になるわけですが、大人
の人というのは、頭がかたいといいますか、伸び伸びとした作品
がなかなかありませんが、そんな中でも、草津市のいろいろな発
表の場の1つとしてこの展覧会を目標にいろいろ活動されている
方もたくさんおられるわけですので、かなりの力作が望めるので
はないかなというふうに思います。また、今回の展示で、ここで
の展示は最後になり、今度は新しいキラリエ草津ですね。最後の
展示で何か花火みたいなものが上げられたらいいなと思いま
すが、なかなかそういうわけにいきません。私も頑張つて良い作品
を、実はこれから作りますが、出したいというふうに思います。

それから、美術展に関わって、今の美術教育というようなこと
が京都新聞の8月15日ですが、載っております、もう一度見
直していたらなかなか面白いことが書いてありましたので、また
皆さんにも紹介させていただきたいと思います。従来の美術教育
でいいますと、何か色でありますとか色彩とか造形を学ぶとい
うことが主流でありましたが、そういうふうにしていきますと、上
手な子が生かされていく。先ほども、子どもたちの生き生きとし
た作品というようなことを申していましたが、上手に作品を作ら
せようとする、子どもたちの元気さとか、生き生きとしたもの
はなかなか出てこない。これまでは絵でも、上手に描いていくと
いうことを主にされていましたが、そういうことから脱却して、
更に子どもたちが生き生きと主体的に学ぶといえますか、そうい
うことができるような方法を持っていかないといけないという
ことを改めて思いました。今までは作り手中心主義で、作るという

ことが大事、表現操作するということが大事だというふうな考え方がありましたが、これからもっと鑑賞ということ、大事に接すべきではないかとそういうことが書かれています。特に今、子どもたちも良い作品に触れて、作品のよさを味わう、また自分で批評し、そしてまた、自分がいろいろな人と話をして、更に新しい見方を持ち、新たな価値を見いだしていくというようなことをしていくことが必要ではないかと思います。今のこの2回の展覧会でも、ただ発表するだけではなく、出品者が他の子どもたちの作品を見ていろいろな意見を出し合う、そういう場もあってもいいのではないかなというふうに思いました。子どもたちは、またいろいろな新たな価値を見出してくれることがたくさんあると思いますので、そういう方向というのも非常に大事ではないかなと思います。美術ということを通じて、芸術活動、表現活動を通じて、他にもいろいろなことに生かせる能力を身につけるというようなことが芸術、美術、書写では大事ではないかなというふうに思います。今までは美術を教える、書写を教える、数学、算数を教える。そういう立場で学校というのがあったのかもわかりませんが、これからは美術で何かを教える、理科で何かを子どもたちに伝える、教えるというスタンスも大事ではないかなというふうに思います。そして自分たちの作品、あるいは他の作品等を見て、いろいろな解釈ができるということに気づき、そして、また新しい自分の可能性というものを見出していく、そういうサークルと申しますか、取組方が大事なのかと思います。ただし、自分の見方ということだけに偏らず、多くの人の意見を聞き、また新しい表現の場につなげていくということが大事だろうというふうに思います。学習指導要領でも、主体的対話的で深い学びということがよく言われていますが、対話等を通じて、社会や生活の中で、各教科で学んだことが生かせるようにしていくことが必要ではないかなというふうに思いました。今、美術のことを中心に申しましたが、これは、英語とか体育とか他の教科にも通じることであるかと思います。体育でも、何か競技を上手にすることが目標ではなく、体育で何かを学ぶ、体育で何かを自分のものにしていくというような、そういうことが、特にこれから必要ではないかというふうに思いました。以上です。

稲垣委員

失礼します。10月と言えば衣替えの季節です。登校する子ども

もたちの服装もホワイトカラーから紺色に変わりつつあり、季節の変化が感じられる頃であります。学習するにも運動するにも校外学習に出かけるにも大変良い季節にも関わらず、昨日の理不尽で意味不明な攻撃は許しがたいものだと感じております。ただ、怒るだけでなく、この理不尽さを踏まえて、子どもたちのチャンスと捉えてその学びの場として欲しいと思います。そんなことはやるべきではないということを教えるチャンスで、ある意味逆手に取ると簡単なのかと思います。能動教育としてしっかりと学ぶ場を与えられたと取り替えて、学ぶに変えるチャンスになり、またそういうことをきちっと教えてほしい。教えられていると思いますが、正義とは何かと学ぶ機会、休みになってラッキーと思っているのではなく、そういうことをちゃんとしてほしいと思いました。

それから、スポーツを楽しもうアスリート交流事業の御案内をいただいたので、東レバレーボールの菅野幸一郎さんの御指導を拝見することができました。軽い準備運動から徐々にボールに触れる体験へと移行されていました。ボールもバレーボール用ではなく、柔らかいソフトバレー用のボールで子どもたちも扱いやすく、最初は硬い表情の子どもたちにも笑顔があふれて、楽しんでいることが伝わりました。アスリートや競技のことを知る、ハイレベルの技術を見る、一緒にするなど、体験でき、楽しさ、すばらしさを共感する機会になったと思います。ただマスク姿に侘しさを感ずるものもございました。マスクをしながら活動しておりましたので仕方がないですが、もっと声を出してやりたかったのだろうと感じましたが、大変良い機会を、ジュニアスポーツフェスティバルで集まるばかりではなく、少人数で本物のアスリートと接することができましたので、大変生き生きと楽しくやっていたのが印象的でした。今後もまだございますので他のバスケットや、いろいろなものを見ていきたいと思いました。良い取組をありがとうございます。

それから、私も青少年美術展を拝見させていただきました。書写と絵画中心の作品展示です。保幼小中学校の児童生徒さんの作品がずらりと展示され見ごたえがございました。書写作品は今までとは違って、私たちの時は創造と不動性、はっきりした字を書いた方が良いというふうに習いましたし、勢いを、力強さをなんて言っていましたが、そうではなく、創作があり、話題文字があ

り、造形文字というふうに毛筆を楽しんでいるということを感じさせていただきました。中でも親子連れで鑑賞しに来られている姿には微笑ましく感じさせていただきました。学習の中には鑑賞という分野もございますので、大変良い鑑賞の場にもなると思われました。そんな中である女の子が中学生の習字を見て、「私はこの字がいいな」と言いました。それはどのような字だったかと言いますと、白い紙に書かれたきれいな3文字。創作的ではなく力強くもなく、本当に教科書にあるようなすらっとした字を私はこれが好きと言っていました。先ほど中西委員がおっしゃったように、すべて鑑賞をすることも大事ですが、そこに5点くらい並べてあなたの好きな字はどれですかと投票を入れても、子どもの視点は違って来る。私たちはどうしても金や銀のラベルが貼っている作品を中心にみてしまいますが、そういう楽しみ方であっても良いのかと思いました。それから絵画の方は写生画や静物画は少なく、お話の絵や創作的な作品が多いと思いました。このコロナの影響で時間数が少なく、工作や粘土の作品はほとんど見る事ができませんでした。こんなところでも影響が出ていると、大変工作が好きな子、粘土を触りたい子が多くいる中でこんなこともあるのかと痛烈に感じさせていただきました。

最後に、コロナ禍でこれができないではなく、これができるという見方で学びを進めてほしいと思いました。以上です。

松嶋委員

失礼します。今回4点、触れてお話していきたいと思えます。

まず、1点目としては、先ほど稲垣委員からもお話がありましたが、犯行予告が10月の16日にあって、そのあと20日に実際に小中高校を閉鎖して、各施設の方でも一旦閉鎖する対応で、まず安全第一で、子どもも含めて身の安全を守るために、迅速に対処がされていたというところと、あと住民への周知に関しても、メールやホームページへの記載、報道機関を通じていち早くされていたので、すごく迅速にさせていただいて自分を感じております。結果的に何事もなく終わった形ですが、それ以前にも、8月の30日にも爆破の予告。市庁舎を爆破するというような予告があって、そのときの犯人もまだ捕まっていないというところで、やはり今後もまた同じような、爆破の予告であったり、そういうことがされるかもしれないですし、最悪の可能性として、実際にされないとも限りませんので、今回と同じような形で

本当に、迅速に安全の対策と、あと周知のほうも速やかにしていただくっていうところ、今回すごく迅速にできていたと思うので、これも引き続き実施していただければなど、保護者としては思っております。

次に、新聞記事で、協議会の方でも触れていただいていた話ですが、京都新聞の10月の13日にあった記事で、今回草津市と教育委員会が行ったアンケートで、記事をそのまま読み上げると、「職員と教職員を合わせた回答者の11%がパワハラを受け、3%がセクハラにあったと答えていることがわかった」という文章から始まって、その後も、回答率や実際パワハラを受けて、相談したのは何人であったなどの数値の方が淡々と書かれていて、最後に、「ハラスメントゼロ推進会議で報告され、結果も踏まえて、今後策定防止指針を策定する予定」とだけ書いている記事でした。これを一般の方が読んだときに、思うことがあるとすれば、何で市の職員の方はこれだけしか答えていないのだろう、なんてひどいことだというふうな印象だけしか残らない形だと思います。なので、今、これに対して防止の指針とかも作っていただいているということで、作った後、実際、保護者であったり、こういう報道機関に対しても、草津市の方でこういうふうにやっていますっていうことを、どんどん周知をしていただければというふうに思っております。それと同時に、実際、今後こういうことが発生しないような、しっかりとした方針指針を策定していただければなというふうに思っております。

あと2点ですが、まず1点がこの前、立命館大学の方でYouTubeライブにて前檀原委員が紹介されていた立命館大学Sustainable Week実行委員会というところで、SDGsに関するYouTubeライブで活動報告などをする場がありまして、自分はそれの生配信を実際パソコンで拝見させていただきましたが、自分が大学生の頃はそこまでそういうことを意識していなかった時期でしたが、今回その配信を見させていただいて、滋賀県の、例えば、ダイハツの会社の方、あとは実際の立命館の学生の方、本当に若い方からしっかり社会人の方も含めて、このSDGsに関して、実際活動報告などをなされているこのYouTubeのライブを見させていただいて、自分が大学生のときと比べて、こういうことに関してすごく懸命に活動されている方がいるということが、こういう配信の場で学ぶことができまし

てすごくいい機会だなというふうに思いました。今、小学校でも中学校でも道徳教育というのが再開されていますが、例えばですけど、そういう中学校ぐらいの道徳教育の場で、そういったSDGsの教育なんかを、第三者の方が、説明に伺って、そこで改めて教育を施すっていうようなところもしていくと、より道徳の教育に学生も有意義なものを学べるのではないのかなというふうに思ったりした次第です。そういった配信を使っただけの教育っていうのもどんどん、今後、タブレットも1人1台取り入れられていくのでそういうのを見て学ぶ方法もいいのかなというふうに思いました。

最後に、これは自分の子どものことになりますが、先月の活動報告でも触れました運動会。無事に自分の子どものところでも、開催がされて、自分は後でビデオを拝見する形になりましたが、一生懸命練習していたダンスを披露している子どもの姿が、すごく恥ずかしそうにしていたのですが、懸命に踊っている姿を見てすごく小さい時と比べて成長を感じることができて、上手に踊れたねと言った時には照れくさそうにしていたのですが、その様子を見て、やはり何かに向かって頑張っている、その頑張ったことに関して、誰かに評価してもらえるということは、社会人になった自分でも、やはり自分が作った何かを評価してもらえた時というのは、更にもっと頑張りたいという気持ちを高めてくれる良い機会だと思いますので、今回こういうふうな運動会の場で子どもたちがそういうふうにできたっていうところで、今後、アスリートの交流事業や美術の展覧会、音楽フェスタなどいろいろな事業であったり、行事、いろいろな機会っていうのが増えることにもなっていくので、子どもたちが何かその刺激を受けて頑張っている、それを誰かに評価してもらえる機会が、今後もどんどん増えるといいなというふうに思っております。今回私からは以上です。

小辻委員

お話しさせていただきますと言いましても、委員になってからまだ10日も経っていないというレベルですので、どこまでが今の報告ということかところではありますが、お話をさせていただきたいと思います。

私は、まちづくりとかそういうところにもいろいろ関わらせていただいておりますが、街あかり、ハロウィンでありますとか、その秋の風物詩的な草津のイベントが大分、中止になってしまいました。

た。皆さんがやっていこうという強い気持ちで今も取り組まれているのでそこは本当に、頭が下がりますが、そういう中で、たった1年かもしれませんが、やはりその地域の方々が、草津という町でどんな人がいるのか知り合う機会がなかなかない、いろいろな人の顔を見る機会がなかなかないかと思いますが、そういう方が一同に集まるイベントは、やはりすごく大事な機会だというふうに思っております。その中で、お子さんたちも例えば友達、友達の家族に出くわすとか、あとは地域のおじさんはこんな仕事していたのかとか、様々なことを知る機会がすごくあって、それがすごく大事なことだなというふうに思っております。その中で子どもたちは何を学ぶのかというと、この社会で自分が1人の構成員としてしっかりと学ばせていただいたり、あとは中高生ですとボランティアをしてみたりとか、場合によっては恥ずかしがっていても手を引いてみたりとかいろいろするわけですが、そういうふうな大切な経験の場がなくなってきたのは、非常に残念だと思うところです。その一方で、何とかできないかというふうに、学生、私も立命館で協議しまして指導する学生たちも動きながら、イベントをやろうということで、YouTube等で、街あかりのこれまでの資料とか集めさせていただいて公開するとか、そういうこともやりながら、盛り上げていきたいということであったりとか、スカイランタンを毎年街あかりの中の企画でさせていただきましたが、みんなから集めたお願い事をスカイランタンにつけて飛ばして、それをまた動画配信とかしながら、思いをつないでいくということをしていて、草津市の皆様にも御協力いただいているところです。やはりその子どもたちが楽しい経験とか思い出というのは、このコロナ禍であっても多く残していかなければいけないと思っております。コロナ禍だからこそできた体験というのを、少しでも作っていききたいということが今強く思うところです。先ほども話にもありましたが、それをやはり子どもたち、大人にとっても学習の機会にいかにかできるか、試されていることなのかというふうに思います。そういう意味で学生たちも、この間地域の方々にもお話を聞いておりました。その時にやはりお店とかでもお客さんの客足というのは、見た目的には戻ってきているというところで、お店の方々何が違うのかと聞いてみますと、地域の行事であるとか、それこそ生涯学習の勉強会のときに頼まれていたお弁当の1つであったりとか、そういうもの

が全部キャンセルされているという状況であります。それはみんなが学ぶだけでなく、そこで語り合う、そして食べて、地域のことも知るみたいなことをやってきた教育といいますか、生涯学習も含めた効果が、地域活性化も含めて失われてきており、それがいつ再開されるか、場合によってはもう再開しなくても良いのではないかという論調にもなりかねない事態もあって、そこは危惧しているところです。危惧というものも、今、いろいろと草津市の方でもイベントというか、音楽会等一部再開されてきているというところですが、今までは文化芸術に触れる機会、皆さん、いろいろな人ができたというところでは、GOTOキャンペーンを見ていただいてもわかるように、御家庭によって、コロナ禍において、コロナに対する認識は非常に差があります。差があるということは、ただ問題があるだけではなく、高齢者がおられるとか、やはり抑えておかないといけないという状況があります。そうすると、子どもたちの中で触れ合う機会に差が出ているというところがありまして、御家庭のこともありますのでどうこうは言えませんが、やはりある程度、みんなに保障ができるような状況に早く戻っていただきたいと思っております。そう言う意味では小学校でスポーツの一流アスリート等に触れ合える機会があるということ、今までですと大学に行っていました、小学校でできることが非常にありがたいと思っておりますし、大学のスタジアムを使っているいろいろやっていたことはすごく大事なことです、次年度以降もできたら小学校でそれぞれ参加できない子たち、いろいろなことに触れられない子どもたちも、学校であれば触れるような機会が担保されるやすいので、コロナ禍ではありがたいのかと思っておりますし、それで子どもたちの夢、希望とか未来が、また花開いていけばというふうに思っております、コロナ禍であります、様々な状況におかれている子どもたちが、こういうふうな機会があることが非常にありがたく、また今後も続けて欲しいという思いで見させていただいております。また私の方からも、皆様に学生のお願い事とかをします、小学校とかでも教育委員の皆さんも含めまして、皆さんにそういう情報とか、もしくは御投稿とかいただきますと、学生たちも励みになりますし、また学生も含めて大学も含めて、地域子どもたちと一緒に、活性化がともにできたらなというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

川那邊教育長

それでは教育長報告につきましては以上で終わらせていただきます。

—————日程第4—————

川那邊教育長

次に日程第4「付議事項」に移ります。「議第64号草津市立幼稚園規則の一部を改正する規則案」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

幼児課長

議第64号草津市立幼稚園規則の一部を改正する規則案について幼児課の山際から御説明をさせていただきます。報告書をご覧ください。2ページから3ページにつきましては規則の改正。4ページは改正内容の新旧対照表となっております。本市につきましては草津市幼保一体推進計画に基づきまして公立幼稚園の認定こども園化を進めております。先の8月定例会におきまして、草津市立幼稚園条例等を改正する条例について御審議いただきまして、令和3年4月1日から笠縫幼稚園を認定こども園として開園するにあたり、園名の変更および定数の改正を行うことにつきまして、御承認をいただいたところでございます。今回はこの条例改正に関連する規則の改正を行うものでございます。4ページの新旧対照表を御覧いただきたいと思っております。第2条の表中、右側の笠縫幼稚園を左側の笠縫こども園に変更するとともに新たに3歳児の定数を加え、50人とし、4歳児、5歳児をそれぞれ60人、65人に変更するものでございます。なお、施行期日は、令和3年4月1日でございます。以上、誠に簡単ではございますが議第64号の説明でございます。御審議のほどよろしく申し上げます。

川那邊教育長

ただいまの説明につきまして、何か御意見、御質問ございませんか。

小辻委員

これは私があまり調べていなくて恐縮ですが、実際3歳児のお子様を受け入れられるようにした上で、草津市内での待機児童数などの状況っていうのは、どのように評価していくのかとあと現状どうなのかというところで御説明いただければと思います。以上です。

幼児課長	<p>ただいま、幼稚園でのことでしたが、待機児童につきましては、保育所の関係で今年の4月1日現在、24名の待機児童が出ておりました。去年70名でしたが現在は下がりました。今年度、施設整備をさせていただいて、来年度更に500数十名の定員を増加することになっておりますので、計画上、待機児童は出ないと考えております。状況変化によってはわかりませんが、現在のところ、待機児童が出ないということで計画を進めております。</p>
川那邊教育長	<p>他、御意見、御質問ございませんか。御異議はございませんか。</p>
各委員	<p>— 異議なし —</p>
川那邊教育長	<p>異議もないようですので議第64号は原案通り可決いたします。</p> <p>次に「議第65号草津市立幼稚園における預かり保育の実施に関する規則の一部を改正する規則案」を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p>
幼児課長	<p>議第65号草津市立幼稚園における預かり保育の実施に関する規則の一部を改正する規則案について幼児課の山際から御説明をさせていただきます。報告書の6ページから7ページについては規則の改正を、8ページは改正内容の新旧対照表となっております。先ほど御説明させていただきました議第64号の規則改正と関連いたしますが、本市におきましては、公立幼稚園の認定こども園への移行、あるいはその移行に備えまして、預かり保育を実施しているところでございます。8ページの新旧対照表をご覧ください。第2条の預かり保育実施施設の第7号に令和3年度から認定こども園として開園するために笠縫こども園、第8号に令和4年度から認定こども園として開園予定の草津市立矢倉幼稚園を追加するものでございます。これにつきましては令和3年4月1日に施行でございます。以上、誠に簡単ではございますが議第65号の説明をさせていただきました。</p>
川那邊教育長	<p>ただいまの説明につきまして、御意見、御質問ございません</p>

	か。
中西委員	預かり保育は今までも実施はされていたのでしょうか。
幼児課長	幼稚園のこども園化にあわせて実施しております。
中西委員	時間は何時までやっていたか。
幼児課長	基本的に通常保育は、平日ですと14時過ぎに終わりますので14時半から16時半までと夏休みの期間は預かり保育はやっています。
川那邊教育長	他、御意見、御質問ございますか。それでは御異議はございませんか。
各委員	— 異議なし —
川那邊教育長	異議もないようですので議第65号は原案通り可決いたします。
	—————日程第5—————
川那邊教育長	次に日程第5「報告事項」に入ります。事務局より、お願いします。
教育総務課長	報告事項、寄付の受け入れ報告について、教育総務課の森下が説明申しあげます。報告書は2ページをお願いいたします。常盤四恩会様より、消毒用アルコールを常盤小学校に御寄付いただきました。また、株式会社京都銀行様よりトイレットペーパーを全小中学校に対して御寄付いただきました。また、高穂中学校PTA様よりテントとテントウエイトを御寄付いただきました。報告事項は以上でございます。
川那邊教育長	ただいまの報告事項につきまして御質問等ございますか。
小辻委員	初めてでわかっていなくて申し訳ないですが、この寄付の価格

が出ていますが、こちらに関しましては、先方さんがこの値段ですという話で御説明いただいているのか、それとも何か調べられてわざわざ出していただいているのかどうなのでしょう。

教育総務課長

先方様の方から金額の提示がございまして、その金額を載せさせていただきます。

中西委員

毎回京都銀行さんからトイレトペーパーの寄付をいただいています。各学校には京都銀行からもらっているということは知られているのでしょうか。

教育総務課長

各学校に対して京都銀行様から御寄付いただいているということは、お知らせしていただいた後、お配りさせていただいております。

川那邊教育長

去年は、感謝状の贈呈式に私も行きまして、渋川小学校で子どもたちがお礼の言葉述べたりと、そういうセレモニーもやったこともあります。毎年そこまではできてないです。毎年、こういうふうにとくさんのトイレトペーパーいただいて大変ありがたいです。

稲垣委員

担当の先生たちから子どもたちには伝わっています。色が違います。緑っぽいトイレトペーパーです。

川那邊教育長

他、いかがですか。それでは報告事項につきましては以上で終わらせていただきます。

以上をもちまして本日の議事は終了となりますが、他にございますか。

それではこれもちまして10月定例会を終わらせていただきます。次回は11月16日月曜日午前10時半から定例会を開催する予定ですので、よろしく申し上げます。ありがとうございました。

閉会 午後 3時50分